

甲 第 号

藤原 亜紀 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	佐伯 圭吾
論文審査担当者	委員	教授	田中 康仁
	委員(指導教員)	教授	川口 昌彦

主論文

The short-term effect of COVID-19 pandemic on disability, pain intensity, psychological status, and exercise habits in patients with chronic pain

COVID-19 パンデミックが慢性疼痛患者の痛みの強さ、心理状態、運動習慣に与えた短期間での影響

Aki Fujiwara, Keisuke Watanabe, Mitsuru Ida, Hideaki Kawanishi, Katsuhiko Kimoto,

Kie Yoshimura, Kozue Shinohara, and Masahiko Kawaguchi.

Journal of Anesthesia. 2021 Dec;35(6):862-869.

論文審査の要旨

申請者はこれまで、慢性疼痛患者の生活機能障害が不安症状、抑うつ症状、運動習慣と関連することを報告した（参考論文 1）。本研究では COVID-19 の流行が生活機能障害に及ぼす短期的影響を明らかにするために、慢性疼痛患者 245 名の生活機能をベースライン、COVID-19 流行前、流行後 3-5 か月の 3 時点で測定し、変化を検討した。3 時点での生活機能に有意な差はみられず、痛みの強さ、健康関連 QOL, 不安症状、抑うつ症状、運動習慣にも有意な差を認めなかった。

本研究は COVID-19 流行下において、慢性疼痛患者の生活機能を維持するために必要な対策を検討するうえで重要な研究といえる。

公聴会では調査時期が適切であったか、統計学的検出力が十分であったか、COVID-19 の流行が生活機能に及ぼす影響において他の因子による交互作用を検討したか、慢性疼痛に対する集学的ケアの必要性はどうか、今後の長期間にわたる観察の必要性はどうか、などの質問に対し、十分な考察とともに適切な回答が得られた。

以上より、博士（医学）の学位に値すると評価する。

参 考 論 文

1. Prevalence and associated factors of disability in patients with chronic pain. An observational study.
Fujiwara A, Ida M, Watanabe K, Kawanishi H, Kimoto K, Yoshimura K, Shinohara K, Kawaguchi M. *Medicine (Baltimore)*. 2021 Oct 8;100(40): e27482.
2. Feasibility, reliability, and validity of the 12-item World Health Organization Disability Assessment Schedule 2.0 in patients attending the pain clinic.
Fujiwara A, Ida M, Kimoto K, Watanabe K, Kawaguchi M. *J Anesth*. 2021 Feb;35(1):81-85.

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに侵襲制御・生体管理医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和4年3月8日

学位審査委員長

疫学

教授 佐伯 圭吾

学位審査委員

運動器再建医学

教授 田中 康仁

学位審査委員(指導教員)

侵襲制御・生体管理医学

教授 川口 昌彦